土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　一般国道487号道路災害防除事業（早瀬大橋耐震補強）に伴う仮設道路修正設計及び用地測量業務委託

事業名 または 工事名　一般国道487号 道路災害防除事業（早瀬大橋耐震補強）

調査目的及び調査対象　道路 掘削・掘削のり面

ボーリング名	BorNo.1	**調査位置**	広島県呉市音戸町早瀬一丁目			**北緯**	34° 09′ 20.4427″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所			**調査期間**	2020年 12月 9日 ～ 2020年 12月 14日	**東経**	132° 29′ 38.4737″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 11.63m	**角度**	180° 上下 90° 0°	**方位**	北 0° 90°東 180°南 270°西	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°	**使用機種**	**試錐機**	YBM YSO-01
総削孔長	14.00m								**エンジン**	クボタ EA10	**ポンプ**	YBM SP-40

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1											
2	8.88	2.75		礫混り砂（盛土）		暗褐	rd2			深度0.50mまで植物根が混入する。 礫は深度0.5mまで細礫主体、以深は2～50mmの角礫主体となる。 全体的にマサ土主体で、やや細粒分を含む。	
3	8.63	3.00		礫		灰				硬質な花崗岩の礫で、L=15cmの棒状コアで採取される。 2.95mから全逸水する。	
4											
5											
6						暗褐～茶褐	rd1			マサ土主体。φ30mm程度の礫が僅かに混入する。 深度5.5～7.4mの間は茶褐色の細粒分が混入する。 深度7.6～7.7mは砕石。	12/12 7.30
7	3.93	7.70		砂質土（盛土）							
8											
9	1.63	10.00		強風化花崗岩		淡黄灰				採取コアは極く脆弱で指で割れつぶれる。 おおむねマサ土化しており、岩内部まで変質がみられる。	12/14 9.30
10											
11											
12											
13											
14	-2.37	14.00		風化花崗岩		淡黄灰				おおむね固結したマサ土状だが、一部でコアパックを開くと土砂状に崩れる。 岩盤等級はD級であり、軟岩に相当する。	

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
3	1.15	1	1	1	3/300		
	1.45						
5	2.15	2	1	2	5/300		
	2.45						
33	3.00	16	13	4	33/300		
	3.30						
4	4.15	1	1	2	4/300		
	4.45						
3	5.15	1	1	1	3/300		
	5.45						
3	6.15	1	1	1	3/300		
	6.45						
4	7.15	1	1	2	4/300		
	7.45						
26	8.15	6	8	12	26/300		
	8.45						
44	9.15	10	14	20	44/300		
	9.45						
56	10.15	15	18	17/70	50/270	270	
	10.42						
79	11.15	23	27/90		50/190	190	
	11.34						
88	12.15	24	26/70		50/170	170	
	12.32						
65	13.15	21	22	7/30	50/230	230	
	13.38						
94	14.15	24	26/60		50/160	160	
	14.31						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					12/10
					12/11
					12/12